

新たな年を迎え、「戦争のない、平和に暮らせる」ことを思いめぐらしています。

今、地球上で多くの国が戦争を起こしています。戦争がなくならないかと願うばかりです。

瀬戸地下軍需工場跡を保存する運動は1990年に始まりました。あの忌まわしい戦争を、決して起こさないためにも、後世にその記録・遺跡を残そうと取り組みが始まりました。

瀬戸市の水野地区に、1945年初頭に愛知航空機は、工場の一部を疎開させました。5つの隣接した丘陵の下、10000平方メートルの床面積の規模でしたが、使用されたのは半分程度でした。この工場では、艦上爆撃機「彗星」の翼の部品がつくられていました。

水野地区には、総延長4キロメートルにトンネルが掘られました。3つのトンネルには800台以上の機械が据え付けられ、全国の先陣を切って操業が始まりました。

この地下軍需工場跡は、瀬戸市内に残る数少ない戦争遺跡であるだけでなく、現代史を語る、全国的に貴重な遺跡です。

先頃、愛知県はこの遺跡の状況を調査するようにそれぞれの自治体に調査を依頼しました。瀬戸市の報告では、「水野地区は現存しているが他の民間防空壕については不明」と報告しています。参考となる事項欄には、「入り口は現存しているが、内部は不明。参考資料 1998 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会（証言・資料集 瀬戸地下軍需工場）」と記載してありました。あらためて私たちの活動が重要であることを瀬戸市が教えてくれたと思います。

戦争遺跡が消滅していつている今、水野地区に残る地下軍需工場の戦争遺跡を、現代史を語る貴重な遺産として、語り、残していくことが、戦争をしない、平和を守る活動だと思います。多くの人の協力を得ながら、瀬戸市が保存に向けて動き出すように働きかけることが私たちの責務だと考えています。多くの人に知らせ、保存のための活動に参加してもらいたいと思います。

瀬戸地下軍需工場跡を
保存する会代表

梅野敏基



2025
今年もよろしくお願ひします！



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.184
2025年
1月5日

瀬戸市分町64-1
瀬戸市職労組事務所
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120

連絡先

事務局
梅野
090-3837-7050
寺脇
0572-23-5899
fax 同上
携帯
090-6575-4370

Eメール
tera-m@ob.aitai.ne.jp



ありがとう

ございました！

2025年度
会費およびカンパを頂いた方

瀬戸市
加藤敏晴・典子さん

24000円

匿名希望さん 10000円

戸田孔成さん 30000円

鈴木宏さん 10000円

栄木房子さん 10000円

桐山久美子さん 20000円

匿名希望さん 20000円

加藤昭子さん 10000円

伊澤智さん 20000円

甲斐雄彦・美雪さん 20000円

原町子さん 20000円

大島武彦さん 10000円

羽根田正之さん 20000円

岡田守弘さん 10000円

黍原和雄さん 20000円

加藤規江さん 10000円

水野高至さん 30000円

高橋満治さん 20000円

菊池久代さん 20000円

荒木庄平さん 10000円

堀秀夫さん 20000円

木戸泰幸さん 30000円

甲斐知子さん 20000円

尾張旭市
若杉登志美さん 10000円

田辺はる子さん 30000円

春日井市
青木正雄さん 10000円

匿名希望さん 10000円

2025年に思い

事務局 芝田政春

年頭にあたり、会員の皆様に私事で昨年3月8日に脳出血にて緊急入院して3月31日の会の見学会にも、4月12日の講演会にもお手伝いできなかつたことをお詫び申し上げます。

5月23日は無事退院しリハビリ通院となりました。医師、リハビリコーディネーターの方々の指導で、寝たきりが、少しずつ現状復帰しつつ家に帰ってきました。また、会へお手伝いが出来ます。感謝です。闘病中、テレビを見ていて、私の様にベツトで横たわる人達がウクライナ、ロシア、パレスチナではたくさん増えてるだろうなと思っていました。これらの国々の指導者は、この人達を救えるのか、見捨てるのかが見たい。

毎年年末はベートーベンの第9が演奏されて、この曲の歌詞のようにといい、ちよつとベートーベンを調べてみました。その交響曲の歴史ではオーストリアのウィーンにて作曲を始めます。その頃、フランス革命(1799年)が起こり革命軍の司令官で連戦連勝の英雄にベートーベンは市民革命、自由平等博愛を広げる革命を讃え、交響曲第3番を作曲。しかしナポレオ

ンはフランス革命を止め皇帝と成るとベートーベンは交響曲第3番の楽譜から英雄を削ります。オーストリアは1813年に皇帝ナポレオンに勝利します。その時、作曲の交響曲第7番は戦勝の曲ではなく戦争での傷病者のための慈善演奏の曲でした。そんなベートーベンが好きです。私は宇宙は交響曲第5番の”ジャジャジャジャーン”のビックバンの八分音符先から始まったと言われる「運命」が良いです。戦争なんかで被害者が出ないことを願います。



12月14日(土)、1月に行われる現地見学会に向けて、事務局員で草刈り作業を行いました。夜は恒例の忘年会です。(前頁)

豊田市	高木みどりさん	1	10000円
	松原勝己さん	5	50000円
	チェイレさん	1	0000円
日進市	成瀬昭彦さん	3	0000円
岡崎市	遠山洋子さん	3	0000円
名古屋市	高橋 信さん	2	0000円
	松本八重子さん	3	0000円
	堀川道子さん	3	0000円
	椎尾匡文さん	1	0000円
	西浦芳郎さん	1	0000円
	西 悦子さん	2	0000円
	蛸島 直さん	5	0000円
	三谷誠一さん	1	0000円
北名古屋市	半谷弘男さん	2	0000円
	中島裕子さん	1	0000円
一宮市	堀口秋彦さん	5	0000円
東海市	佐藤明夫さん	1	0000円
半田市	水谷眞理さん	1	0000円
豊橋市	兵道易久さん	1	5000円
豊川市			
各務ヶ原市	福手一義さん	2	0000円
恵那市	長瀬新平さん	2	0000円
亀山市	岩臨 彰さん	1	0000円
香芝市	西嶋拓郎さん	2	0000円
那智勝浦町			
東	晃司さん	1	0000円
尼崎市	今井啓一さん	3	0000円
東京都	東海林次男さん	1	0000円

2025年1月4日 現在
会員 157名
(名簿を精査し入金していただいている方を数えたところ、この数になりました。)

2025年、戦後80年の新年に 改めて反戦の誓いを

事務局 寺脇正治

2025年が明けました。今年もご支援のほど、よろしく願います。さて今年21世紀が始まって、四半世紀。あの忌まわしい大戦が終結して80年。東西冷戦が終結し、21世紀は平和の世紀かと希望を抱いた1990年に、私たちの会は発足しました。世界平和の希望もむなく、今、世界は混沌の中にいます。昨年、平和を願う多くの人々に「被団協のノーベル平和賞」が私たちに大きな喜びをもたらしました。しかし、それでも世界は一喜一憂というよりも一喜多憂の現状は変わりありません。大国による傍若無人の市民の殺戮は、平和への道を閉ざし、かつ世界を一層不安定にしています。第1次世界大戦までは「戦争は戦場で行われ、兵士が傷つくもの」でしたが、第二次大戦以降は、もはや戦争は総力戦で戦闘意識のない多くの市民の犠牲（虐殺）を伴うものになってしまいました。その事実が「力には力で」とか「敵が攻撃する意欲をなくすように、より一層の軍事力を」と力での抑止力に大国は互いに権勢し合っています。その究極が核の威嚇です。

と思えばどんな形でさえ「テロ」を防げないのです。先日、私は中村哲さんと澤地久枝さんの対談書を読みました。皆さんご存知のように中村さんは長年にわたりアフガニスタンで千を超す井戸を掘り、27kmにおよぶ農業用水路を整備し、230haもの土地を緑化しました。それも国や経済界の力を借りることなく、ほとんど一から現地の人たちの協力で簡単な重機を使って、成し遂げたのです。中村さんは、はじめは、医者として現地の人たちの健康を支えていました。が、診療所よりもっと大事なものがあろうと思ひ、砂漠を緑化することを思い付き、そして実現しました。中村さんの言葉に印象的な言葉がたくさんありますが、その中でも「九条が私を守ってくれる。」という言葉がたいへん印象的でした。クリスチャンでもある中村さんは「人は愛するに足り、真心は信ずるに足る」という言葉も印象的でした。「九条」の話をすると「そんなお花畑では通用しない」という人がいますが、中村さんの実践は見事に、それを否定してみせました。残念ながら中村さんは銃弾に倒れましたが、大規模な用水路は確実にアフガニスタンの地に緑に変えていきました。そして彼の意思は多くの現地人や、日本のボランティアの人たちに平和の種を蒔いていきました。

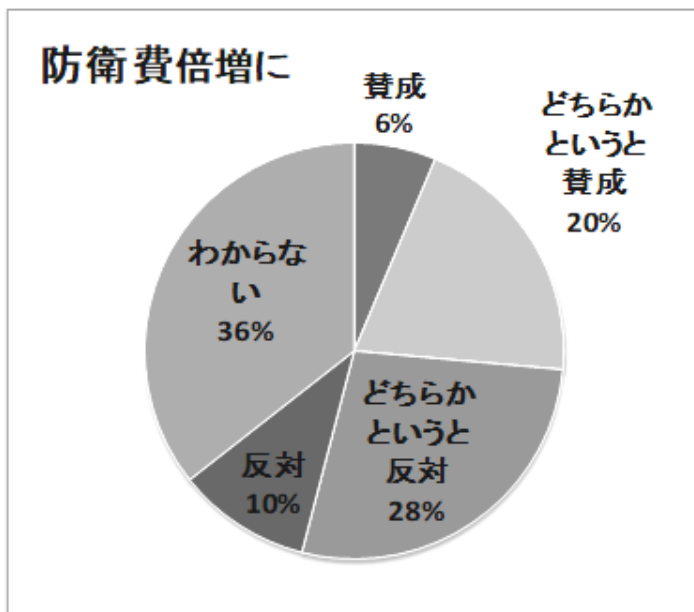
今、沖縄では新しい基地建設が県民の反対と現地の軟弱地盤というリスクにも関わらず「粛々」と進められています。私には、ゼネコンを儲けさせているだけしか見えません。

もう一つ、「関東防空大演習を嗤う」という記事を1933(昭和8)に信濃毎日新聞に掲載した桐生悠々氏の言葉を思い出します。要約すると、「敵機が帝都東京に来るようになったらおしまい、演習を行うのは意味がない。敵機が来ないようにすることこそ肝心だ。」ということ。悠々氏はその後新聞社を追われて隠遁生活をするようになり、太平洋戦争の前に亡くなってしまいましたが、その後、日本は彼が言うような状態になってしまいました。

「敵が来たら、どうするか」と多くの方は、質問しますが、私は「敵がそこまで来たら、おしまいなのです。」と言いたいです。現在は昔と違って、最初に直接、敵の兵士が侵入してくることはありません。「無人の協力的な飛び道具」が発達し、遠くから直接爆弾が降り注ぐのです。「敵機基地攻撃能力」などという方がいますが、逆の立場に立てば、「日本が攻撃してくるか」もしれないので、その前に叩いてしまえ!」と同じことを考えるでしょう。あらゆる戦争は「自国と自国民のための自衛」から始まっています。過去の戦争では日本は、自衛のために大陸に進出していきました。日本が直接他国から攻撃されたのは平安時代と鎌倉時代の3回ほどです。近現代における日本の自衛は「他国への侵略」を意味しています。

最近のウクライナやガザのことで、若い人達も平和に対する関心が強くなっているように思います。左のグラフは、昨年の8月に「聖霊中学校」での講演の際に、中学2年生190人に対して行ったアンケート結果です。質問は「政府は防衛費を倍

増しようとしていますが、そのことについてあなたは？という質問に対して「①賛成②どちらかという賛成③どちらかという反対④反対⑤分からない」という回答で答えてもらうものでした。回答では賛成派が26%、反対派が38%、分からないが36%でした。この結果をみなさんはどう思われますか？



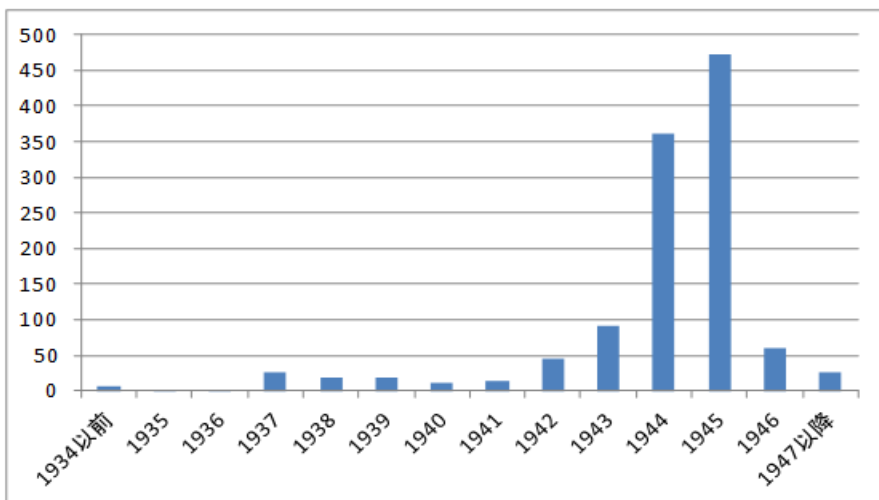
もう一つ、戦争が始まれば、終わるのが難しいと同時に犠牲者がうなぎ上りに増えてくるといふ事実があります。下のグラフと表をご覧ください。これは瀬戸市の戦没者（軍人軍属、戦病死者も含む）の人数です。瀬戸市内だけですが、この傾向は日本全体

でも当てはまります。満州事変が1931年（昭和6年）日中戦争の始まりである支那事変が1937年（昭和12年）、そして太平洋戦争の始まりが1941年ですが、瀬戸の戦没者は全体の1/2%にすぎません。一気に多くなるのが1944年（昭和19年）から1945年（昭和20年）です。それも1945年は8月まで。要するに日本の戦没者は1944年の夏のサイパン陥落からの1年間に集中しているということですが、もはや日本の負けが確定してからの方が戦没者が多くなっています。このことを私たちはどう考えたいのでしょうか？

当時の政府や軍部は、戦争の現実を国民に知らせることなく、情報を秘匿、改竄し続け、国民を恫喝し続け、兵士に対しては自殺まで強要し英霊として利用し続けたのです。もちろん米軍の度重なる日本国民大量虐殺はしつかり弾劾しなければなりません。それにしても、日本政府と軍部そしてそれらを後押しした財界たちの私欲と無責任ぶりには憤りしかありません。なんのために庶民は命を落としていったのか？死ななければならなかったのか？そのことを絶えず念頭に置きながら今年も、愚かな戦争の証人である戦跡保存の運動に関わっていきたく思います。今年もよろしくお願ひします。

以上

瀬戸市戦没者 1175名の年別死者数



年	死亡者数	%
1934以前	7	0.6%
1935	2	0.2%
1936	2	0.2%
1937	25	2.2%
1938	19	1.7%
1939	18	1.6%
1940	12	1.0%
1941	13	1.1%
1942	46	4.0%
1943	91	7.9%
1944	361	31.5%
1945	473	41.3%
1946	61	5.3%
1947以降	25	2.2%

1945年以降の戦没者には、主に戦病死、戦傷死、ならびにシベリア抑留死が含まれる

愛知県に保存要請を、瀬戸市に調査報告のお願い文を提出！

2023年11月に愛知県から戦争遺跡の調査を各自治体に依頼したことを受け、保存する会では10月15日に愛知県文化局文化財室長あてに、地下工場跡地の保存要請文と証言資料集第4集を提出し、10月24日には瀬戸市プロモーション課と地域振興部文化課長に戦争遺跡調査等の質問状を提出しました。以下に瀬戸市からの回答結果を掲載します。(寺脇)



瀬戸市地域振興部文化課長川原千佐栄さん(右)に依頼文書を提出(10月24日)

地図の番号	遺跡	所在地	内容
96	愛知航空機(株)瀬戸工場	瀬戸市上水野町	コンクリート造隧道入り口5以上、コンクリート造水槽
97	法雲寺の梵鐘代替品	深川町	昭和17年10月造陶製高さ115cm直径79cm、市指定文化財
98	東本地町の防空壕	東本地町	幅1m高さ1.2m長さ6.7m
99	新田町の防空壕	新田町97	庭先丘下に幅0.7m横穴2本
100	幡中町の防空壕	幡中町	幅0.6~0.9m高さ1.5m横穴5本
101	掛下町の防空壕	掛下町	幅1m高さ1.8m長さ10m

2006年発行の愛知県史に掲載された上記6カ所の戦争遺跡に関して、以下の4点の情報公開をお願いしました。

- 1, 6ヶ所の戦争遺跡に関しての調査結果、その他瀬戸市において独自に把握している戦争遺跡に係る情報。
- 2, 愛知県に報告した調査結果の内容。
- 3, 市町村説明会の実施内容、または今後の実施予定。
- 4, 瀬戸市内の戦争遺跡の保存・継承に向けての瀬戸市の方針。

瀬戸市の回答(11月7日付)

1から3に関しては地域振興部文化課

回答の要約

1, 番号97以外の遺跡につきましては、現地調査等を行っておりません。また、独自に把握している情報はありません。

2, 上記番号97~101については現地調査せず愛知県に2024年2月付で

すべて「不明」で報告

3, 説明会を行った実績はありません。また、今後の実施予定もありません。

4に関してはプロモーション課

番号96 (愛知航空機(株)瀬戸工場)

国や愛知県と協議を行い検討していくものと考えております。

番号97 (法雲寺の梵鐘代替品)

平成9年瀬戸市指定有形文化財(歴史資料)となつて以降市文化財保護条例による保存対象でありますので、所有者様とともに瀬戸市はその保存・継承について今後とも尽力してまいります。

番号98~101 (防空壕)

陥没等の危険性があり、土地所有者様が希望する場合は維持管理課が閉塞等の対策をいたしますが、存置する場合は土地所有者の管理と考えております。

※保存する会の調査ではすでに2カ所は消失

日本と世界の戦争の基礎知識？

3年前より、縁あって瀬戸市の聖霊中学校・高等学校のみなさまにお話や現地見学の案内をさせていただいています。夏に行われる「平和へつどい」にもお招きいただき、お話をしていますが、私は戦争体験者じゃないので、中学2年生の方

ちに平和をおびやかす戦争のことを考えてもらうきっかけとして「クイズ」を出すようにしています。以下にその設問と回答そして中学2年生の正答率を表にしてみました。解説も上げましたが、データについてはインターネットで調べました。（寺脇）

	設問	答	正答率
1	第2次世界大戦が終わったのは8月15日である。	×	26%
2	日本と戦争した国	①アメリカ	○ 96%
3		②中国	○ 87%
4		③ドイツ	○ 36%
5		④イタリア	○ 25%
6		⑤ロシア(ソ連)	○ 92%
7		⑥オランダ	○ 33%
8		⑦イスラエル	×
9	瀬戸市にも空襲があった。	○	93%
10	この焼夷弾の中に入っていたのはガソリンである？	○	46%
11	名古屋の空襲の期間はウクライナの期間より長い。	×	59%
12	名古屋の空襲の期間はイスラエルによるガザ地区攻撃の期間より長い。	×	52%
13	名古屋の空襲による犠牲者はガザの犠牲者より多い？	×	68%
14	ガザ地区の面積と人口がもっとも近い日本の都市は？ ①大阪 ②神戸③京都④名古屋	④	25%
15	ガザ地区があるイスラエルの面積は、つぎのどこに近い？ ①九州②四国③本州④北海道	②	51%
16	8月6日の広島原爆の犠牲者は今の瀬戸市の人口より多い。	○	82%
17	8月9日の長崎原爆よりも3月10日の東京大空襲の犠牲者の方が多。	○	61%
18	太平洋戦争で日本の領土にアメリカ軍が侵攻して戦闘になり市民の犠牲者が出たのは沖縄だけだ。	×	67%
19	第二次世界大戦中、日本人が兵隊になったのは20歳以上だ	×	93%
20	今年、名古屋市は5月14日を「平和の日」として制定したが、その理由は何？ ①最初の大規模な空襲の日 ②犠牲者が一番多かった日 ③名古屋城が燃えた日	③	35%
21	瀬戸地下軍需工場は何を作っていたでしょう？ ①機関銃②戦車の部品③飛行機の部品	③	53%

解説

1, 8月15日は天皇が「玉音」放送で「戦争を終わらせる」と国民に宣言した日。
9月2日にミズリー号で敗戦の調印を行い、第2次世界大戦は終結した。この2週間の間にソビエトは北方四島を占拠。

2, 8で日本と戦争した国で

①②⑤⑥は問題ないが、

③のドイツとは、日本は第1次世界大戦で連合国側として青島、ミクロネシアをめぐり、ドイツと闘っている(1914年)。

そのときのドイツ捕虜が習志野でソーセージ、広島島の似島でバームクーヘンを作って紹介。第9の初演もドイツ捕虜によるもの。

④のイタリアは、1943年9月にムッソリーニが失脚後、連合国に参加し日本に宣戦布告した。

⑦のイスラエルだけは第二次世界大戦後できた国であるので、日本と戦争したことはない。

9, 瀬戸の空襲

主な瀬戸の空襲は1945年3月12日午前0時 収束焼夷弾M69(ナパーム弾IIガソリン)が投弾され、新開地・京町付近で26軒が全焼。

1945年5月17日未明、幡山村全焼住居3, 非住居3の報告。

10, 焼夷弾には、ナパーム弾(ゼリー状のガソリン)、テルミット(マグネシウム)焼夷弾、黄燐焼夷弾などがある。持参したのはM69焼夷弾で38本の焼夷弾を収束して投下した。

11, 名古屋(愛知の空襲)の空襲は1944年12月から1945年8月まで
ウクライナは2022年2月から2024年8月(現在も進行中)

12, 名古屋(愛知の空襲)の空襲は1944年12月から1945年8月まで
今回のイスラエルによるガザ攻撃は2023年10月から2024年8月(現在進行中)

13, 名古屋の空襲では死者7858人、ガザ攻撃の死者は2024年6月までで36550人(現在進行中)

14, ガザ地区365 km² 222万人

名古屋市326 km² 233万人
大阪225 km² 279万人
神戸557 km² 149万人
京都828 km² 144万人

15, イスラエルの面積 2, 08万 km²
四国 1, 83万 km²

九州 3, 68万 km²
北海道 7, 80万 km²
本州 22, 79万 km²

16, 広島原爆の犠牲者14万人、瀬戸市の人口13万人

17, 東京大空襲は8万4千(当日の死亡者、一般には10万人とも言われている)長崎7万3千

18, サイパンや硫黄島など。

19, 予科練など14歳で兵隊になった。沖縄には21の旧制中学校があり、沖縄戦では、これらすべての男女中学校から生徒が法的根拠もないまま戦場に動員された。男子生徒は14歳から19歳で、上級生が鉄血勤皇隊に、下級生が通信隊に配属された。中には13歳の学徒もいた。また陸軍中野学校直属の護郷隊に配属された学徒もいた。女子生徒は15歳から19歳で、従軍の看護助手として配属された

20,

① 1944年12月13日
② 1945年6月9日 2068名
③ 1945年5月14日

21, 艦上爆撃機「彗星」の部品を製作
以上

「被爆体験伝承者 船津晶子さん」③

被爆体験者<兒玉光雄氏>プロフィール

1932ねん（昭和7年）生まれ。広島県立広島第一中学校一年（12歳）の時、爆心からわずか800m余りの木造校舎内で被爆。被爆当時登校していた一年生三、四名のうち、急性原爆症を克服して奇跡的に復学できたのは19人だった。しかしそのそれから次々と放射線障害と診断される病で倒れ、80歳を超えることができたのはわずか2名だった。その生かされたものも「重複癌」と闘う日々であった・・・。（88歳で逝去）



6月29日(土)文化センター12会議室で、保存する会主催で第3回戦争体験を語り継ぐ会を行いました。今回は広島から被爆体験伝承者の船津さんをお招きして伝承講話をしていただきました。お話の内容を掲載します。

寺脇

(163号から)

そうこうしていると、また別のところで声がします。「おおい、助けてくれ！」という声が聞こえる。それはけん君といつて光雄君の大的仲良しなんです。けん君は中ずりになっていて、逆さずり。足と柱の間に水筒があって、水筒さえ除けば、助かることができるので「この水筒、除けてくれ！」と言うんですが、てこにして外そうとしても、どうしても取れません。少し離れたところにプールがあって、そこに人が見えていたので、

「ちよつと、待つとれよ！助けを呼んでくるから」と言って、その場から離れました。辺りは真っ暗。原子爆弾を落とされたのが、朝、8時15分。数秒か、数分分分からないけれど、そこから抜け出しても、真っ暗。太陽がお月様のよう。周りを見回すと、だんだん辺りが明るくなってくるが、学校から南を見ると、すべての建物が倒れている。まだ焼けて

はいないが、倒れていて瀬戸内海に浮かぶ島が見えました。いつもの、学校から見える景色ではありません。その時は、学校の上に直撃弾が落ちて、学校だけが壊されたと思っていたが、「これはたいへんなことになったぞ！」広島全部がやられていくことに気がつきました。南から東、北の方に目を向けるとポツンポツンと鉄筋コンクリートのビルだけが建っている。「ふくや」というデパートだったり、中国新聞社のビルがあったが、そこから炎や煙が上がっているのが見えた。「え！ほんとうに大変なことになった！」と呆然としておりました。われに返って、けん君の状態が心配なので、プールの方に助けを求めにやってきました。すると、建物疎開作業に行っていた150名の人達は、学校の中にはない、何も遮蔽するもの覆うものがなかった。でも、まともに熱線とか爆風とかいろいろ浴びています。だから髪の毛は焼け焦げて坊主のようになり、顔はやけどでは膨れて、そのせいで目が落ち込んだように見えたり、洋服も焼け焦げて、女学生はセーラー服を着ていたが、セーラー服の襟だけが燃え残って、それを見てこれは女の子だったんだと分かる。やけどを冷やすためにプールの水を求め

て来ているが、プールの水は茶色に染まっていた。浮かんでいるような死体もありました。水道管が破裂して、水が噴き出ているのを、自分のやけどを冷やすために、取り合いのけんかがあったり、洋服が燃えていたり。こちら側には立ち上がった軍隊の手帳を呼んでいて、まともな精神ではない人がいたりして、これは助けを求めるのは無理だと思い、またけん君が「助けてくれ！」と言っていたところに戻ってきました。すると、逆さずりになっている。後から、どうしてこんな状態になったのか聞いてみると、児玉光雄さんの先輩に物理を専攻されている方がいらつしやって、これは、衝撃で一度、校舎が全部、浮き上がったたき潰された状態になったのではないかと言われたそうです。今で言う学級委員長級の長が「火がせまってきたぞ！逃げよう！」と誘ったが、このうしお君の背中にはびっしりガラスが突き刺さっていました。これは爆風でガラスがバーツと壊れて、頭にも突き刺さっているの、脚にまいていた包帯のようなゲートルを頭にまいていました。「逃げよう」と言うが「けん君を助けてくれ！」とお願ひしたが、そんなことは耳に入らない。「こんちくしょう！」と言って口から血

を吐いて彼は逃げ去ってしまいました。その場で右往左往していたが、けん君の水筒は外れないし、そうこうしていると、ものずこいつむじ風が吹きてきました。火事嵐と言うか、その下に閉じ込められている友達は、助からないと思っただのか、下の方から声が聞こえてきました。

「お母さん、助けて！」という言葉ではなくて「天皇陛下バンザイ！」と言ったそうです。その当時は、大日本帝国憲法で天皇陛下は神様だと教えられていました。この戦いは神風が吹いて必ず勝つんだと教え込まれていたんです。ですから「天皇陛下、バンザイ！」「一中、バンザイ！」そして最後に苦しうに「君が代」の歌を始めました。それが歌い終わると次は一中の歌を歌い始めたそうです。光雄くんも、ここには火事にまき込まれるばかりなので、「すまん！すまん！」と言いなながら、その場を逃げていくしかありませんでした。

広島は山に囲まれた平地。川がありません。デルタとか扇状地とかの平地がある。島病院というところの上空で爆発。爆心の1km内に一中がありました。約900m。最初は、比治山（ひじやま）という小高い丘に逃げようと思ったが友

達を助けるために火事が起こっていて、家に火がついていて逃げる事ができません。宇品（うじな）に向う市内線の電車の通りがあつて、そこに逃げていくことにしました。逃げている人をみたら、まるで幽霊の行列みたいでした。手の先にボロ布をぶら下げているように見えるが、近寄ってみると、ボロ布じゃなくて自分の皮膚が一瞬で解け落ちて爪でひっかかっている。痛いんです。だからできるだけ上に引き上げるよう歩いていた。光雄君は「みず、みず、みず、みず、みず、みず」と言いなながら歩く人の声を聞いたそうです。そして電車通りに行きました。目の玉が飛び出て手で受けている若い男性を見つけました。光雄君はその人を助けるように、寄りそうように連れ立って逃げました。道端には、もう、たくさんの人が倒れています。行き倒れています。兵隊さんは人を助けるのではなく自分が逃げるのが精いっぱい、天皇陛下からいただいた大切な銃を杖にして歩いていた。そういう姿を見て、光雄君は「ああ、これは日本も負けたな。」と思ったそうです。

さらに進むと、女性が下半身を挟まれて「助けて！」と光雄君の足をつかんだんです。でも光雄君は、もう人のことは



御幸橋

8月6日午前11時ごろ 爆心地から2,270m

松重美人撮影 中国新聞社所蔵

かまっている余裕はなくて、その人の手を振りほどいてしまいました。その人のその目を忘れる事ができません。さらに進むと御幸橋というところにやってきました。

この写真は有名で、原爆資料館の本館にも展示してある写真。8月6日、当日の約3時間後の写真。のちに中国新聞社の記者さん当時は中国軍官司令部の報道班員で写真を撮るのが役目の軍人さんが、夜中の空襲警報が出ていたので、朝、一度家に帰ってまた出ようとしていたときにピカツときたので、助かっています。軍官司令部にいたら、助かっています。軍官司令部というのは、広島城のあたりにあって爆心地にすごく近い、おうちは宇品方面で家において、ほぼ無傷だったのでカメラを持って出た。この状況を撮ろうとしたけれど「涙のファインダー」という本も出ていますが、こういう被爆者のようすを写真に撮ることがどうなのか、ということ、シャッターを切るまでにすごく戸惑ったそうです。ここが警察官の派出所、この人が警察官と言われています。ここで爆心地方面から逃げてきていてやけどをしている人に食用油をぬってあげているところだそう。生存者として見つかったらいた方の証言もあったり、ここに女の人が赤ちゃんをだっこしているようすを後に証言していたりしています。光雄君は御幸橋まで来て、やけどはしていません。

んでしたが、やはり座り込んだりして、なかなか動けなかった。最初は夜中のように暗かった空も霧が晴れたように、真夏のギラギラの太陽が出て、もう熱中症のような状態だったかもしれないし、放射線をすごく浴びているので、むかむかして何度もとどしてむかむかしてました。座ったら、もう立ち上がる事が出来なくて、たった160mの橋ですが、1時間以上かけて渡っています。 やつと重い腰を上げて、逃げ始めたかなと思います。一中のそこから比治山に逃げようと思ったけれど無理だったので、宇品線の電車の通りを通って、御幸橋を渡って、しばらくはがんばって歩きました。このあたり丹那というところで失神してしまいました。そこで目がさめました。夕方だったそうです。お百姓さんのおばあさんが、「あく、気がつきんさったかね！」と言って冷たい井戸水を飲ませてくれたんです。まさに地獄に仏だと思ったそうです。そのおばあさんが、どうして助けてくれたのかというと、光雄君が一中の制服を着ていました。なので、このおばあ

さんの甥っこさんが一中の上級生だった
たそうで、

「上級生はどうしてますかね」と聞くと
「上級生の人は、東洋工業（現マツダ）
が兵器工場だったので、あちらの方に行
っているから大丈夫だと思います。」と
言うとき喜ばれて、当時大変貴重だった白
い米のご飯を炊いて出してもらった。で
も、むかむかして、とても食べられない状
態だったので、「じゃあ、ゆっくり休ん
で泊まっていきなさい。」と言われたが
「いや、家の者が心配しているから帰り
たい。」と言うと、帰る方法をご主人が
調べてくださって、宇品線の電車とはち
がう軍用鉄道があって、当時広島は軍の
都、軍都と言われていて、全国から広島
に兵隊さんを集めて宇品という港から
出兵するという軍隊の町だったんです。
だから軍用鉄道があって、これが動いて
いて使えたそうです。

大河（おおこう）という駅から大洲口
（おおすぐち）という駅まで乗り継いで、
広島駅は燃えていたので、ここは徒歩で
矢賀（やが）まで行って、芸備線と言う
単線がありますが、それで戸坂（へさか）
というところに疎開していたので、夜中
に帰りつくことができました。

（次号へつづく）

兒玉さんの避難経路

歩いて  鉄道で 



写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌 第17話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

防弾タンクとは防弾チョッキの様に、弾を弾いたり、止めるものではなく、被弾時にガソリンに引火しないように、漏れを止めることの出来る燃料タンクである。漏れを止める漏洩防止層がタンク外側にあるものを外袋式タンク、内側にあるものを内袋式タンクと呼んだ。技術の進んだ米国では、燃料タンク全体を合成ゴムで複層一体化していた。

「防弾タンクの研究」

愛航研究部渡辺技師は昭和17年から18年にかけて、空技廠に於ける防弾タンクの研究についての技術情報の収集を行い、技術部に伝達を行った。

1 空技廠の要求する防弾外袋式タンクに関する条件

1) 被弾時のガソリン漏洩制限状況

燃料槽が被弾せる時、第一発目に於いてガソリンが少しでも漏洩しては困る。この貫通通過を逆光線（高速カメラ）にて後部より見たる場合、弾丸の尾にガソリン蒸気が付随してゆく位にならなければならない。僅かでも滲み出ている時は二発目の貫通の際、吊光弾にて引火する危険性あり。

2) 防弾槽の被覆層の厚み

被覆層の厚みは20mm以下、出来るだけ薄きを望む

3) 重量

7kg/m²以下が目標であったが、13mm機銃に対し13kg/m²とのこと

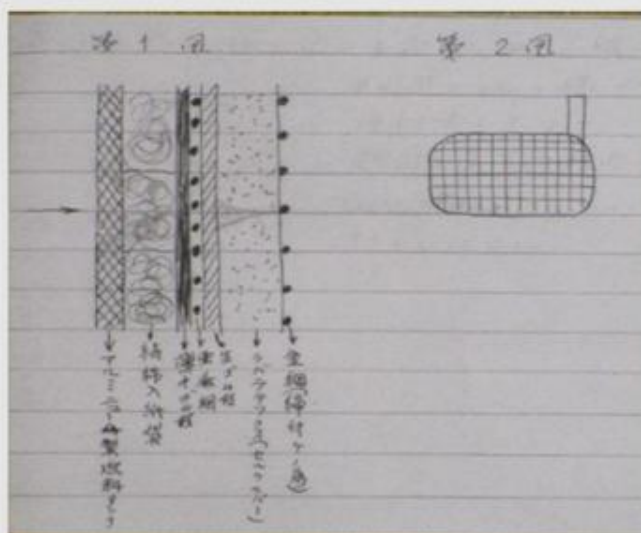
2 空技廠にて研究実用せんとする防弾タンクの構造と機構

空技廠では、400×400×700mm 程度のアルミニウム溶接タンクを下地として、その上を被覆せるもので、その機構の側面図並びに正面図は別記の如し。

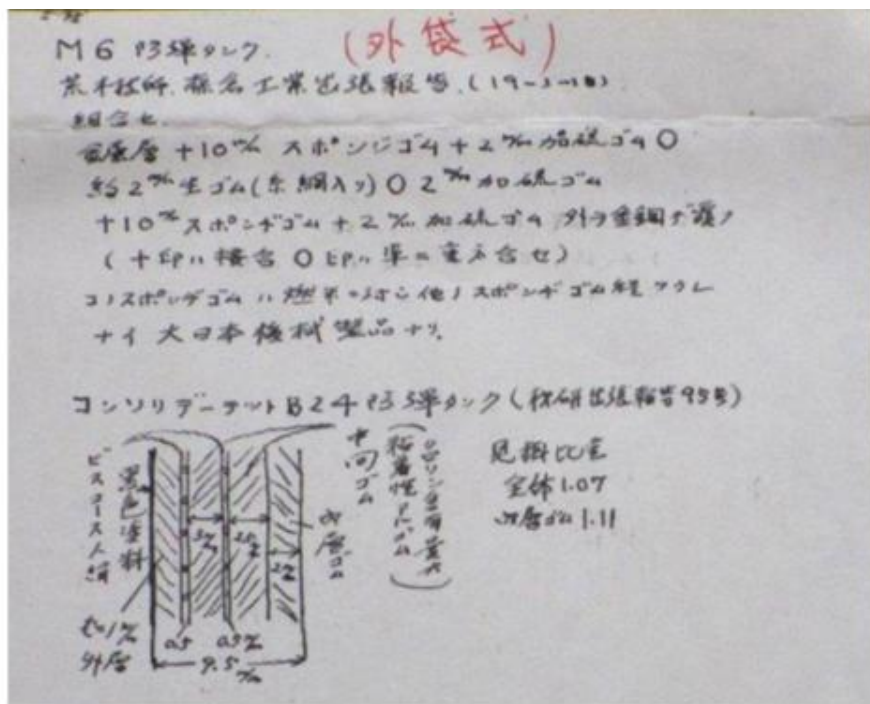
その漏洩防止機構は、次の如し。弾がAL燃料層を貫通すると第1図の如くむくれて破壊する絹綿層がこのAL板のむくれ部の緩衝部となる、そのためには約10mm程度の厚さを持たしめている、今この緩衝部のなき場合はAL板のむくれ部は漏洩防止層たるゴム層に喰込み、孔が閉塞し難くなるのである。この絹綿部はP.V.A (poly vinyl alcohol)を含ませたる和紙にてCompartmentを作り、ガソリンが貫流箇所以外の絹綿Compartmentに滲出するを防止する手段を取っている。

弾丸の絹綿層貫通後ガソリンは絹綿部に侵入し直ちに生ゴムが溶解す、その上層のラバーラテックスは弾性大なる多孔質のもの（普通のSpongegumではない）であるが弾丸が貫流した時弾性力大である故、自動的に戻り穴を閉ざすが弾の通過の際、弾に多少付着して飛んでいくために穴があく、その間隙を上記の溶解生ゴムが溶けこんで自動的に漏洩防止作業を営むものである。更にこの上にある金網は格子金網で押えている。従って燃料槽の面が平面に近い時は網の押え部の中央部はたるむ様である故、現在施工中のタンクは断面に上下両側面は凸様にcurvatureをもたしめる様設計せしめている。

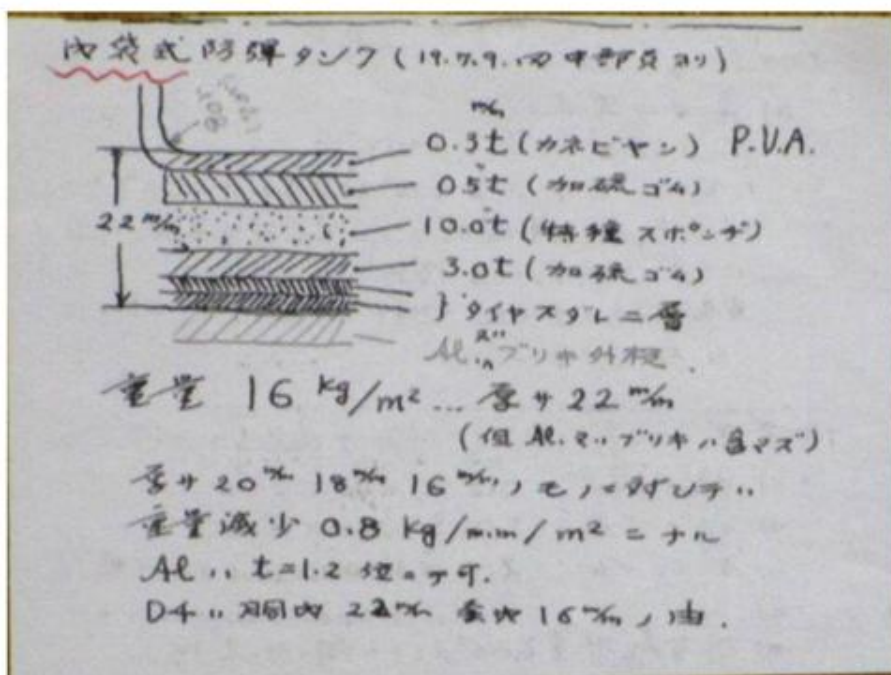
次号へつづく



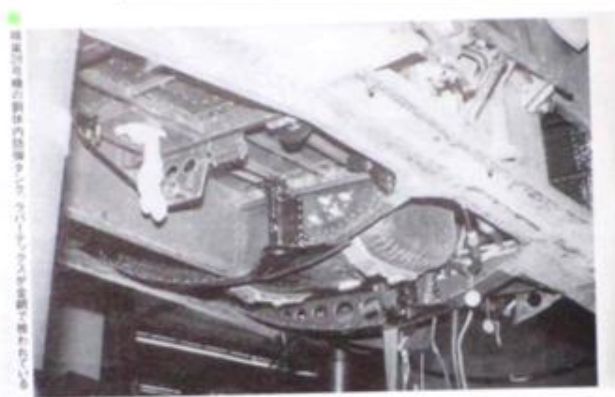
①空技廠案の外袋式防弾タンクの構造図1



②空技廠案の内袋式防弾タンクの構造図2



③空技廠案の内袋式防弾タンクの構造図



④晴嵐の胴体内外袋式防弾タンク

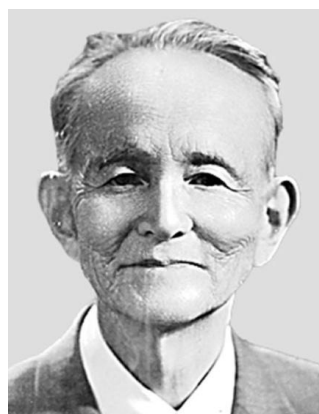


⑤夜間戦闘機月光の胴体内と主翼内外袋式防弾タンク

米兵の墓に手を合わせた祖父

瀬戸市の海上かいしよの森で米軍捕虜虐殺事件を調べてみえる鈴木守さんから、戦中でも敵である米兵の墓に慰霊を続けた方の情報を届けていただきました。

寺脇



桜井平三さん

12月17日(火) 14:33 配信

静岡新聞 DIGITAL より引用

太平洋戦争末期の1945年、現在の川根本町千頭周辺に墜落した米軍爆撃機B29搭乗員の米兵の墓に、毎朝のように花を手向けた地元住民がいた。当時の東川根村立国民学校長だった故桜井平三さん(享年82)。「死んでしまっただけも味方もない」と米兵の墓前に手を合わせた祖父の思いを後世に残そうと、中学校教諭で孫の一孝さん(60) 〓焼津市〓が、当時の証言を本にまとめた。世界で戦禍が絶えない今、一孝さんは「祖父が戦時下でも失わなかった思いやりの心を多くの人に知ってもらいたい」と強く願う。

45年5月29日、B29が旧日本軍戦闘機「屠龍(とりゆう)」との空中戦の末、墜落し、米兵9人と日本兵2人が戦死した。当時の住民は、まだあどけなさの残る米兵の遺体を哀れみ、十字架に「米軍九勇士の墓」と書き記し丁寧に埋葬した。平三さんは毎朝、米兵の墓の慰霊を続けたが、戦時中だったこともあり、住民からは「敵の墓を拜むとはけしからん。教育者のくせに」と非難された。平三さんが「死ねば同じだ」と住民を諭し、慰霊を続けた結果、多くの住民が倣うようになったという。

一孝さんは少年時代に、平三さんから直接この話を聞き、「いつかは祖父が思いを寄せる地を訪れたい」と考えていた。教員になってから旧日本川根中(同町)に転任希望を出し、1995年から4年間勤務した当時の村長や関係者に話を聞いて資料を採し、祖父の歩みをたどった。

長らく資料は自身で保管していたが、2024年8月14日付の本紙で、当時の米兵慰霊のエピソードが掲載されたことを機に、「80年前の出来事が語り継がれていることに驚いた。祖父を誇らしく感じ、功績を形に残したい」と思いを強めた。「祖父・桜井平三の功績をたどって」と題し、平三さんの人柄や写真、当時の証言や新聞記事を30ページにまとめた。

本は川根本町と焼津図書館(焼津市)に

寄贈した。祖父が亡くなって41年。一孝さんは「祖父は穏やかで優しい人だった。戦争の記憶を若い世代につなげられれば」と望んでいる。

(メモ) 1945年5月29日午前8時

ごろ、11機編隊の米軍爆撃機B29が次々と現在の川根本町上空に現れた。午前11時ごろ、中部地域の哨戒に当たっていた河田清治少尉〓当時(22)〓と土山茂夫兵長〓同(20)〓搭乗の戦闘機「屠龍(とりゆう)」がB29を発見し空中戦となり、同11時半ごろ、体当たりを敢行。河田少尉と土山兵長B29に乗っていた米兵11人のうち9人が命を落とした。

河田少尉と土山兵長の遺体は通夜の後、村営大葬場で荼毘(だび)に付した。米兵9人の遺体は村役場近くの小高い丘に埋葬した。生き残った米兵2人はパラシュートで脱出後に同町の山林で捕らえられ、捕虜として名古屋市の東海軍司令部に連行された。



川崎 キ45改 二式 複座戦闘機「屠龍」

以上

第40回 戦災・空襲記録づくり東海交流会

民間空襲被害者は報われない！

毎年、報告されている「全国空襲被害者連絡協議会（全国空襲連）の岩崎さんの訴えには、心が痛みます。軍人や軍属など当時、政府や軍と契約関係にあつて被害にあつた人達や遺族は恩給等の補償があるのに、民間人の空襲被害には、いっさい国家補償がありません。ドイツやイタリアにはあるのに、なぜ日本にはないのかという問いに元厚生省の幹部は「国家賠償を要求すると、太平洋戦争における天皇の責任を問うことになるので、戦争責任には触れたくない」ということだそうです。理不尽の上もないことですが、いまだに国会に法案すら提出できない状態で、この事実を国民は知ることが必要です。

昨年12月8日（日）ピースあいちで、戦災・空襲記録づくり東海交流会が行われました。当日は参加団体が23団体、51名（会場31・Zoom18、報道2）3本の特別報告と8本の報告がありました。当会からは寺脇が2024年の活動報告をさせていただきました。印象的だった報告を掲載します。なお題目・文章はこちらで考えました。

寺脇

高校生が戦跡調査



岐阜空襲を記録する会に所属する高校生 岡部和男さんが「旧68連隊遺跡 ほかにについて」の報告をされました。68連隊は、名古屋を本拠地とする第三師団の第三歩兵に所属し、1908年より岐阜市内の新設兵舎に移転されました。昨年、18歳の自衛官が射撃訓練中に銃を教官らに発砲し、3人が死傷するという事件が起こった射撃場は旧68連隊の射撃場だったところだそうです。

50年目の岐阜空襲を記録する会

「岐阜空襲を記録する会」が発足して50年を迎えました。1974年発足時は東京など大都市で「空襲などの戦時下の記録を残し後世に伝えよう」という運動が起こり、岐阜でも必要だということで現代表の篠崎喜樹代表（当時高校教諭）が声をかけてはじまりました。その後、「岐阜空襲展」などを開催するとともに「岐阜空襲誌」など書籍を発行し、2002年には東海地方に先駆けて「岐阜市平和資料室」の立ち上げにも尽力されました。24年10月には篠崎代表に「岐阜市政功労賞」を受賞されました。

熱田空襲慰霊地蔵があぶない

「熱田空襲遺跡を守る有志の会」の林信敏さんの報告。2024年5月に愛知時計電機は熱田空襲の住民犠牲者を悼む平和地蔵を、転倒事故の危険があるからと「7月初旬頃適正に撤去する」という看板をたてました。そのことを受け、6月に急遽「有志の会」を立ち上げ、愛知時計電機社長、名古屋市長、市議会議長、報道機関等に平和地蔵尊の存続・保存を要望されました。それにより「撤去」の看板が「あり方を検討」という看板に変わりました。（次頁関連記事）

歴史教育と地域の歴史をつなぐ授業の実践

交流会の報告ではありませんが、会に出席されていた県立千種高等学校の竹内佐和子先生の社会科の授業実践を紹介します。授業では熱田空襲慰霊地蔵の撤去問題を取り上げ、フィールドワークを通して、熱田空襲の事実と、戦争の悲惨さと平和を願う地蔵尊という戦跡保存について子どもたちに考えさせる授業をされました。報告書の中の先生の言葉

が印象的でした。
「次代の地域社会の歴史・文化をどのように継承し形成していくのかは、地域社会に生きる一人一人の課題である。そうした課題解決のためには、まずは、地域に残る文化財への理解を深めること、そしてそこから、それらの保存・管理のあり方についての関心を持ち続けることが必要である。」（文責 寺脇）

みなさまからのメッセージ とインフォメーション

貴重な情報を送っていただきました。ありがとうございました！

11 愛知総合市 2024年(令和6年)12月26日(木曜日)

中

熱田空襲慰霊の地蔵 保存へ

住民の声受け 来月から安全対策工事



一転保存されることが決まった熱田空襲の犠牲者を慰霊する地蔵＝名古屋市熱田区で

太平洋戦争末期、2千人超が亡くなった「熱田空襲」の犠牲者を慰霊するため、愛知時計電機(名古屋市熱田区)敷地内に建てられ、安全のため撤去が検討されていた地蔵が安全対策を施した上で保存されることに決まった。

同社などによると、犠牲者を追悼する地蔵は2体あり、うち歩道沿いの1体は地震などで倒壊し、そばを通る歩行者に危険が生じる恐れがあった。地元住民から保存を求める声があり、同社と地蔵を供養してきた法然寺(同市中川区)が方針を再検討していた。安全対策工事は来年1月中旬～2月初旬を予定。地蔵の高さを80センチほど低くし、歩道からさらに離れた場所に移設。地蔵が倒れても、歩行者にけがをさせないようにする。

同社などに撤去中止を求めていた地元住民らでつくる「熱田空襲遺跡を守る有志の会」の林信敏代表(77)は「残してほしい気持ちに添えていただけた。お地蔵さんも喜んでいゝ」と話した。

(角野峻也)

寺脇様

本日の中日新聞朝刊にて熱田地蔵の保存を知りました。人々の関心で社会は変わっていくのだと知りました。 千種高 竹内佐和子

知らなかった戦争の真実

機雷も投下されていた！

B29 から爆弾や焼夷弾だけでなく、機雷も投下されていたそうでした。びっくりしました。もちろん、爆弾のようにそのまま投弾していたら、海面にあたって爆発してしまうので、パラシュートで投下されたそうです。

「浮島丸」の受難！

1945年8月22日、朝鮮人と家族数千人を乗せた「浮島丸」が青森県大湊港を出港。しかし、なぜか進路を変更し8月24日、夕方に舞鶴港に入った直後、大爆発し沈没。朝鮮人524名、日本人乗組員25名が死亡。死亡者はもっと多かったとの証言もある。いまだに、「なぜ舞鶴に寄ったか」「なぜ爆発したか」真相は不明のまま。

前頁の「交流会」で活動報告をされた敦賀の木戸聡さんの報告の中で、恥ずかしながら、私が初めて知ったことがあり、みなさまに報告させていただきます。 寺脇

編集後記

2025年が始まりました。戦後80年、保存する会35年。わずかトンネル工場はわずか半年間の命でした。そのわずか半年のことを、もう35年もやっているのですが、いまだに終わりが見えません。図書館に行っても「戦争」に関する書籍はかなりの規模になっています。今年も蛇のように、長が〜く、ひっこく関わっていきたいと思います。



2025, 1, 4 (T)



聖霊中高生土曜セミナーで現地見学

10月19日(土) 聖霊中学校・高等学校の土曜セミナーで中学1年3人と高校3年1人、保護者4人、引率先生の10名の方が見学に訪れました。地元の水野小学校出身者もいて、懐かしがっていたのが印象的でした。(寺脇)